

エレクトロニクス分野 製品カテゴリー別業績（監査対象外）

売上高および営業収入	3月31日に終了した1年間		(単位：億円)
	2002	2003	増減
オーディオ			
外部顧客に対するもの	¥ 7,475	¥ 6,825	8.7%
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	94	44	
計	7,569	6,869	9.2
ビデオ			
外部顧客に対するもの	8,064	8,234	+2.1
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	68	84	
計	8,132	8,318	+2.3
テレビ			
外部顧客に対するもの	8,424	8,461	+0.4
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	9	87	
計	8,433	8,548	+1.4
情報・通信			
外部顧客に対するもの	11,673	9,586	17.9
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	131	129	
計	11,804	9,715	17.7
半導体			
外部顧客に対するもの	1,823	2,047	+12.3
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	1,562	1,713	
計	3,385	3,760	+11.1
コンポーネント			
外部顧客に対するもの	5,256	5,374	+2.2
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	4,005	3,768	
計	9,261	9,142	1.3
その他			
外部顧客に対するもの	5,011	4,907	2.1
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	5,664	4,752	
計	10,675	9,659	9.5
カテゴリー間取引消去	(6,397)	(6,606)	
合計	¥ 52,862	¥ 49,405	6.5%
営業利益（損失）			
	2002	2003	増減
オーディオ	¥ 221	¥ 433	+95.5%
ビデオ	965	1,040	+7.8
テレビ	267	433	+62.2
情報・通信	(529)	(170)	
半導体	(126)	(17)	
コンポーネント	(227)	409	
その他	(535)	(709)	
小計	36	1,419	+3,873.8
配賦不能費用控除・カテゴリー間取引消去	(48)	(1,005)	
合計	¥ (12)	¥ 414	%

- (注) 1. 上記の情報は「ビジネス別セグメント情報」におけるエレクトロニクス分野の売上高および営業収入・営業利益（損失）の内訳です。ソニーの経営者はエレクトロニクス事業を単一のオペレーティング・セグメントとして意思決定を行っていますが、上記の情報は、当該セグメントを理解する上で投資家にとって有益なものであると考えています。なお、ソニーは2002年度第1四半期より、エレクトロニクス分野の製品部門区分を一部見直ししました。これにともない、前年同期の実績は新区分に合わせて組み替え再表示されています。
- また、携帯電話の売上は2001年度上半期まで「情報・通信」部門に区分されていましたが、2001年度第3四半期以降の同製品の売上は、ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズからの受託生産売上として「その他」部門に区分されています。
2. 「その他」のカテゴリー間取引およびセグメント間取引には、主としてゲーム分野に対する売上が含まれています。
3. 「売上高および営業収入」における「外部顧客に対するもの」以外の金額情報は、米国会計原則にもとづいて開示しているものではありません。製品カテゴリー別の「営業利益（損失）」には、エレクトロニクス分野全体における費用の配賦計算（為替予約実現損益を含む）が反映されています。この費用の配賦計算は、米国会計原則にもとづいて行っているものではありませんが、業績情報を提供するにあたって合理的なものであるとソニーは考えています。

エレクトロニクス分野 製品カテゴリー別業績（監査対象外）

売上高および営業収入	3月31日に終了した3ヵ月間		（単位：億円）
	2002	2003	増減
オーディオ			
外部顧客に対するもの	¥ 1,484	¥ 1,336	10.0%
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	27	8	
計	1,511	1,344	11.1
ビデオ			
外部顧客に対するもの	1,574	1,469	6.7
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	29	12	
計	1,603	1,481	7.6
テレビ			
外部顧客に対するもの	2,194	1,795	18.2
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	0	12	
計	2,194	1,807	17.6
情報・通信			
外部顧客に対するもの	3,127	2,428	22.4
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	49	35	
計	3,176	2,463	22.4
半導体			
外部顧客に対するもの	453	525	+ 15.8
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	277	291	
計	730	816	+ 11.8
コンポーネント			
外部顧客に対するもの	1,414	1,329	6.0
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	909	686	
計	2,323	2,015	13.3
その他			
外部顧客に対するもの	1,361	1,075	21.0
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	1,075	466	
計	2,436	1,541	36.7
カテゴリー間取引消去	(1,450)	(1,214)	
合計	¥ 12,523	¥ 10,253	18.1%
営業利益（損失）	2002	2003	増減
オーディオ	¥ (112)	¥ (145)	%
ビデオ	10	(115)	
テレビ	30	64	+ 112.5
情報・通信	(34)	(36)	
半導体	(105)	(124)	
コンポーネント	(54)	(91)	
その他	(84)	(229)	
小計	(349)	(676)	
配賦不能費用控除・カテゴリー間取引消去	(164)	(485)	
合計	¥ (513)	¥ (1,161)	%

- (注) 1. 上記の情報は「ビジネス別セグメント情報」におけるエレクトロニクス分野の売上高および営業収入・営業利益（損失）の内訳です。ソニーの経営者はエレクトロニクス事業を単一のオペレーティング・セグメントとして意思決定を行っていますが、上記の情報は、当該セグメントを理解する上で投資家にとって有益なものであると考えています。なお、ソニーは2002年度第1四半期より、エレクトロニクス分野の製品部門区分を一部見直ししました。これにともない、前年同期の実績は新区分に合わせて組み替え再表示されています。
2. 「その他」のカテゴリー間取引およびセグメント間取引には、主としてゲーム分野に対する売上が含まれています。
3. 「売上高および営業収入」における「外部顧客に対するもの」以外の金額情報は、米国会計原則にもとづいて開示しているものではありません。製品カテゴリー別の「営業利益（損失）」には、エレクトロニクス分野全体における費用の配賦計算（為替予約実現損益を含む）が反映されています。この費用の配賦計算は、米国会計原則にもとづいて行っているものではありませんが、業績情報を提供するにあたって合理的なものであるとソニーは考えています。